

小田桐 たかし 物語



神戸市で生まれ育った小田桐さん。経済的な厳しさのなかでも、お母さん手作りのいかなごのくぎ煮が大好物。高校・大学のラグビー部でも骨折一つしない強さを作ってくれました。

両親の活動を通じ、21才で日本共産党へ入党。阪神大震災で就職先を失い、東葛病院に就職するも、費用負担の心配から、検査をためらう患者さん達に触れ、25才で市議に初当選しました。

党派を超えた市民から支えられたおかげで、「気さくで共産党らしくない」との声も。いっぽう議会では、子どもからも健康保険証を取り上げたり、子どもの、進路まで断つような税金取り立てに厳しく対峙し、解決してきました。自民元市議も「その厳しさは市政に絶対必要」と評価します。

震災ボランティアや消防団の経験を活かし、水道水汚染対応や、消防本部移転計画に積極的役割を発揮。大阪府北部地震の翌日には、市長への緊急要請を実施し、前進を勝ち取るなど防災対策の充実に欠かせない存在です。



市民と力をあつめ

小田桐たかしの実績

市民の声を届け、 「住みよい流山」を一步一步



早朝の駅頭宣伝を重ね、初石駅はトイレの水洗化、跨線橋のエレベーター設置と改善してきました。信号設置やカーブミラーの設置、水害地域の改善など「住みよい流山」めざし、市民とともに20年歩んできました。



子育て・老後を応援



保育園の送迎やアトピーを持つ子どものお弁当作りなどの経験から、子どもの医療費助成の年齢拡大、児童館増設、つばさ学園の体制強化、保育・学童保育の

拡充など子育て応援の基礎をつくりました。

また市民の声を代弁し、シルバー銭湯や低料金の特養ホーム建設、重度障がい者の入浴支援など施策が実現しています。

教育の充実

教育の独立性を揺るがし、教育内容より経済性や効率性を持ち込む市長に全面対決。全教室のエアコン設置、教員の長時間労働の把握徹底、サポート教員の増員、就学援助の拡充、校舎のトイレ改修など教師と子どもの願いを応援しています。



日本共産党流山市議団
<http://www.nagareyama-jcp.jp/>

苦難に向き合い、
政治を正す

小田桐 たかし

45歳

流山市議会議員 **日本共産党**

プロフィール

●1973年神戸市生まれ、徳島大学医療短大卒業後、東葛病院に放射線技師として就職。●現在、市議5期。●議会発言1万4千回、駅頭宣伝1700回を超えました。●東初石2-81-9 東初石ハイツ2-402号 ☎090-8567-8858 ●妻・娘と在住。●メールアドレス：takashi70612@yahoo.co.jp